

| | | | | | | | |
|------------|--|---|-----------|------|---------------------------------|--|-----|
| 科目コード | R6012 | 科目名 | 理学療法評価学演習 | | | | |
| 履修区分 | 必修 | 開講期 | 2年前期 | 授業回数 | 15回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 石倉 英樹・中川 敬汰 | | | | | | |
| 授業の概要 | 理学療法評価について、徒手筋力検査法の実技・手法を中心に学習する。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 平和を希求する心と豊かな人間性を身につける | | | | | | - |
| | 修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける | | | | | | |
| | 高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける | | | | | | |
| | 地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける | | | | | | |
| | 2025年度以降の学則適用者用のディプロマ・ポリシーとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は、項目順や表現が異なります DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 | | | | | | |
| 到達目標 | 筋力測定の目的や実施方法を、説明し、実施ができる。 代償動作を理解し、配慮して筋力測定をすることができる。 筋力評価を行った結果より統合と解釈を体験する。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | 実習に適した服装（ケーシー、ジャージ、短パン、ポロシャツなど）で参加すること。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | | 事前・事後学修 | |
| | 1 | オリエンテーション、理学療法評価の基礎 ・筋力測定に関する基礎知識、評価の事前に行う情報収集【石倉】 | | | | 理学療法評価における心身機能・身体構造について復習しておく。（60分） | |
| | 2 | 徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・頸部の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 頸部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 3 | 徒手筋力検査法（頸部～体幹） ・体幹の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 体幹の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 4 | 徒手筋力検査法（上肢） ・肩甲骨の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 肩甲骨の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 5 | 徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（前半）【石倉】 | | | | 肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 6 | 徒手筋力検査法（上肢） ・肩関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】 | | | | 肩関節周囲の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 7 | 徒手筋力検査法（上肢） ・肘関節・前腕の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 肘関節・前腕の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 8 | 徒手筋力検査法（上肢） ・手関節・手指の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 手関節・手指の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 9 | 徒手筋力検査法：頸部～上肢まとめ ・頸部～上肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】 | | | | 頸部～上肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分） | |
| | 10 | 徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法の実技（前半）【石倉】 | | | | 股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 11 | 徒手筋力検査法（下肢） ・股関節の筋力検査に関する方法の実技（後半）【石倉】 | | | | 股関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 12 | 徒手筋力検査法（下肢） ・膝関節の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 膝関節の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 13 | 徒手筋力検査法（下肢） ・足関節・足趾の筋力検査に関する方法の実技【石倉】 | | | | 足関節・足部の骨・筋について、触診を練習しておく。（60分） | |
| | 14 | 徒手筋力検査法：下肢まとめ ・下肢の筋力検査に関する実技の習熟【石倉】 | | | | 下肢の徒手筋力検査手法の口頭指示や運動について整理し、練習しておく。（60分） | |
| 15 | 筋力測定に関する応用的知識 ・疾患に関する筋力評価、統合と解釈の実践【石倉】 | | | | 臨床場面で行う徒手筋力検査についてイメージしておく。（60分） | | |
| 成績評価方法 | 実技試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者（出版社） | | | | | ISBNコード | |
| | 新・徒手筋力検査法 原著第10版（共同医書出版） | | | | | 978-4-7639-0041-8 | |
| 参考書 | 理学療法評価学 第6版補訂版（金原出版） | | | | | 978-4-307-75068-4 | |
| | | | | | | | |
| 教員からのメッセージ | 筋力評価は、身体の構造についての知識が不可欠であり、特に解剖学（骨格筋と支配神経）についてはよく復習しておくが良い。また、実技に際して触診技術も必要となるため、復習しておくが良い。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | オフィスアワーを活用すること | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | 病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、理学療法評価（筋力評価）について、実技を行う。 | | | | | | |